



高麗中学校だより

日和田

令和6年5月号

文責：利根川典正

新学期がスタートして1カ月ほど経ちました。学級活動や委員会、部活動などが本格的に動き出しました。教室を訪問すると高麗中生一人一人が「主役」となって取り組んでいます。

また、やり方は違えども、生徒が主体となって活動している姿に日々成長しているなど強く感じています。パナソニックの創業者・松下幸之助さんは「失敗は失敗と認識してやめた瞬間に失敗になるけど、やめなかったら成功のための道程でしかない」といっています。中学生という時期だからできる失敗もあるかと思います。これからも成長するための前進＝挑戦を続けてくれたらと心から願っています。

4月12日（金）新入生歓迎会

入学して間もない1年生が、高麗中での学校生活に少しでも早く慣れるよう、毎年実施されています。生徒会本部により進行され、「さすが、上級生!!」と随所に思わせてくれました。

はじめは表情の硬かった1年生でしたが、次第に緊張がほぐれ、充実した時間となったようです。



4月19日（金）全校保護者会

ご多用のなか、授業公開ならびに保護者会に来校いただき、ありがとうございました。

高麗中は、めざす学校像（高麗中ミッション）『ミラクル高麗中 奇跡を起こせ!』のもと、子供たちは成長してきました。今年度もめざす学校像（高麗中ミッション）は『ミラクル高麗中 奇跡を起こせ!』としますが、キーワード『対話』『前進』『笑顔』を追加で入れました。

ご家庭でも、話題にしていただけましたら幸いです。

『対話』：自分一人では思いつかないことや解決できないようなことも「対話」により、できるようになります。自分を高めるだけでなく人を大切することにつながります。

『前進』：成長するため大きな一歩でなくてもいい、着実な一歩一歩を進めることをしてみてください。先生方は前進する高麗中生を全力で応援します。

『笑顔』：笑顔は、人を安心させ、人間関係を良好なものとしてくれる最高のものです。

また「笑う門には福来たる」という言葉があるように笑顔で幸せになりましょう。

高麗中日記～子供たちの様子を伝えていきます。

4月19日、生徒会副会長が校長室に『校長先生に、ご相談に伺いました』と来てくれました。相談とは、校舎1階生徒用玄関前にある「目安箱」の開示に立ち会ってほしいというものでした。

これまで目安箱の提案に「自転車置き場の屋根を修理してほしい・・・」といった生徒会で対応できないことがあったため、校長が立ち会うことになったと聞きました。

学校では定期的に安全点検を実施し、必要な修繕を迅速に行っていますが、高麗中の子供たちも安全な学校づくりに貢献してくれています。感謝の一言です。

また高麗中「目安箱」は、今後も大切な役割を担ってくれそうです。

「目安箱」さん、これからもお世話になりますね。